



ミニデイサービス便り

しめ縄作りとケーキの差し入れ

きょうは、85歳の男性Kさんからお正月のしめ縄作りのご指導をいただくことになった。利用者さんと同じようなお年のKさんです。しめ縄作りには米のワラではなく、もち米のワラがよいと教わる。

この日のために準備万端整えて下さった。利用者の皆さんもすっかりその気になって、エプロン姿よろしく座り込んでおられる。

先生が、まず、見本を見せて下さった。皆さん、縄をなわれた経験がお在りになると思っていたら「都会暮らしじゃで、そんなことやったことがない」「私も知らないわ」昔の方は、皆さん経験がお在りだと思ふことが、そもそも間違いでした。

まず、「縄をなう」ことから始まった。これが、難問で思っていたより、なえない人が多い。人には得て不得手があるんだと納得。日頃、きれいに手芸をされる方々が、なかなかなえないから不思議である。

片マヒの方には、スタッフと2人3脚で出来あがっていく。

ようやく、縄らしくなえるようになったら嬉しいもので、どなたも形作りに真剣そのもの。平成14年の元旦、玄関に自分で作ったしめ縄を生まれて初めてかけることになると大張り切りでした。

高齢者方から、持たれる技術を教えていただく機会に恵まれることはとても素晴らしいことです。

この日は、嬉しいことがもうひとつ。おやつもいただいてホッとおしゃべりしていたら、年長組の園児さんが箱を3個、ささげのように持って訪問して下さった。どうみてもケーキの箱だ。

じっと見ていると、自分たちで作ったケーキを差し入れて下さったのでした。箱を開けて、大歓声。「一斉にみんなでありがとう！」子供達の手作りケーキは、何より、美味しいものでした。

華やぐことが少ない高齢者の皆様には、こういう子供との交流は本当に嬉しいひとときでした。

平成14年1月のミニデイサービス
保育園 1月10・24日 事務所 1月17・19・31日

外出のための 移動支援があったら・・・

福祉車輛をいただきました 運転ボランティアさんを募集しています

障害者や体の弱い高齢者が、普通に暮らしていくために、移動の方法は大事なことです。バリアフリーになっても、移動が可能になるわけではありません。具体的に、移動する支援が必要です。

家にこもらないで、外出の方法があればどんなにいいでしょうか。介護保険での輸送サービスは、生活を支えるサービスに位置付けられるまでにはなっていません。助け合い活動でその機会を！

- ◆高齢者・障害者の通院・透析通院を支援します
- ◆高齢者の社会参加を支援します
- ◆高齢者・障害者が生き生き暮らせる可能性を拡大します
- ◆様々な人と触れ合うための交通手段でもあります

宮市介護サービス事業者連絡協議会 訪問介護・訪問看護定例会

- ◆日時・平成14年1月16日(水)
午後3時～
- ◆場所・一宮市社会福祉協議会
- ◆内容・感染症への対応について
感染症対応事例や
問題点について学びます

| 1月の予定 | | |
|--------|---------------------------------|---------------------|
| 1日(火) | 会報「まごころ」 | 発行 |
| 6日(日) | 定例会・臨時総会 | |
| 7日(月) | コーディネーター会議 - 介護ボランティア | 岩本、堀 |
| 9日(水) | ミニデイ委員会 | |
| 10日(木) | ミニデイサービス - 介護ボランティア 運営委員会 | (場所・保龍園) 石塚、中 |
| 16日(水) | 一宮市介護サービス事業者連絡協議会 | |
| 17日(木) | ミニデイサービス - 介護ボランティア | (場所・事務所) 古田、牧野、楠 |
| 21日(月) | コーディネーター会議 - 介護ボランティア | 谷、小林 |
| 23日(水) | ミニデイ委員会 | |
| 24日(木) | ミニデイサービス - 介護ボランティア 理事会 | (場所・保龍園) 鮎、鈴木 |
| 25日(金) | 小規模介護講座 | 北方の泉新公民館 |
| 28日(月) | コーディネーター会議 - 介護ボランティア | 岩田、築城、山 |
| 31日(木) | ミニデイサービス、ミニデイ定例会 - 介護ボランティア | (場所・事務所) 鮎、楠 |

- A) 直接本人の援助に該当しない行為
- 1) 利用者以外のもに係る行為又は洗濯、調理、買い物、布団干し
 - 2) 主として利用者が使用する居室等以外の掃除
 - 3) 来客の応接(お茶、食事の手配等)
 - 4) 自家用車の洗車・清掃等



- B) 日常的に行われる家事の範囲を越える行為
- 1) 家具・電気器具等の移動、修繕、模様替え
 - 2) 大掃除、窓ガラス磨き、床のワックスがけ
 - 3) 室内外家屋の修理、ペンキ塗り
 - 4) 庭木の剪定等の園芸
 - 5) 正月、節句等のために特別な手間をかけて行う調理等

ある外科医の独り言

傷 高 勝義

山下病院に来て二十年以上過ぎると、時々外来で、「この傷は先生に切ってもらった傷ですよ」と、突然言われる事がある。

大変申し訳無い事であるが、ほとんどの方のお名前と手術をした病名の記憶は無い。「どれどれ傷を見せてください」とお願いし、お名前とその時の病名を聞きながら傷を見る事となる。

綺麗な一直線の傷の時は、あーよかったな、と思うのだが、傷が曲がっていたり、赤く盛り上がってケロイド状になっている時は、大変申し訳無く思うのである。時には傷を見たたん、その患者さんの事を突然思い出すことがある。そのほとんどは、手術や術後管理に大変苦労した事、患者さんや家族の方にご迷惑をおかけした人々である。また時には、先生に切ってもらいましたよ、といわれるのだが、傷を見ると、どうも自分が切った傷にしてはおかしいなと思うこともある。こんな時は後から手術記録を調べ、私の指導の下に、ほかの医師が切った傷である事もある。たかがおなかの切り傷。誰が切っても同じだと思われるかもしれないが、そこが微妙に違うのである。同じ山下病院の医師ですらこのようである。違う病院の切り傷は全く違っており、一目で山下以外の病院で切ってもらったと、ほとんどの傷で判断できるのである。

切り傷は時代の流れと共に変化もしている。切る場所も微妙に違うなら、切る方向も異なる。又、切った後の縫合の仕方も異なるのである。昔はお腹を横に切るなどということは、切腹がイメージされ、一般的に横に切るのとは良くないといわれてきた。しかし時が経つにつれ、縦でも横でも斜めでも、その時々合った一番いい切開法が一番良いと、私は思うようになってきた。従って、山下で切られた方々は、真っ直ぐの正中切開あり、横切りあり、斜め切りありである。

皮膚の縫合法も変化した。昔は絹糸で皮膚を縫い、一週間目に抜糸を行ったのである。今は、皮膚組織を溶ける糸で縫い、皮膚はテープで固定し、抜糸なることは行わない。その結果、縛った糸の跡が皮膚に残らないのである。そして、抜糸する時の痛みもなく傷もきれいに治るのである。たかが皮膚切開、たかが皮膚縫合、なかなか奥が深いのである。(山下病院 院長)

~~~~~

| 11月会員登録状況 |      |
|-----------|------|
| 協力会員      | 45人  |
| 利用会員      | 63人  |
| 賛助会員      | 117人 |
| 計         | 225人 |

| 11月有償活動     |         |
|-------------|---------|
| 在宅活動件数      | 13件     |
| 活動人数        | 18人     |
| 活動時間        | 141.5時間 |
| ミニデイサービス利用者 | 43人     |
| 移送サービス利用件数  | 45件     |

2月の定例会は  
2月3日(日) 事務所 9時30分～12時30分  
◆定例会 9時30分～10時30分  
◆勉強会 10時30分～12時30分  
内容：「ホームヘルパーが知りたいこととその留意点について」  
講師：尾崎麗ハビリ科 課 加藤智子氏  
この日の午前のケアはお休みです  
利用者さんよろしくお願い致します

| 11月介護保険訪問活動 |          |
|-------------|----------|
| 訪問件数        | 54件      |
| 家事          | 484時間    |
| 複合型         | 269時間    |
| 身体          | 269.5時間  |
| 合計          | 1022.5時間 |

